

とびら

特集

新しい委員会構成でリスタート！



令和3年
5月・6月議会を掲載

No. 105

— CONTENTS —

- **特集** 新しい委員会構成でリスタート！2・3頁
- 5月・6月議会の概要 …… 4・5
- 討論 …… 6
- 常任委員会の活動 …… 7
- ここが知りたい！一般質問** …… 8～14
- オリンピック小中学校応援要望書 …… 15
- きかせて！あなたの夢 …… 16



リスタート! ReStart

都市経済委員会

経済振興部、都市整備部、農業委員会に関することを審査・調査します。



委員長 坂本 仙一



副委員長 笹沼 康弘



委員 田口 茂



委員 小池みよ子



委員 山口 哲秀



委員 菅谷 毅

議会運営委員会

議会運営に関することを協議します。

委員長	小池みよ子
副委員長	池田 芳範
委員	根崎 彰
	坂本 仙一
	立原 弘一
	佐藤 信成
	栗林 京子
	樋口 富士男
	菅谷 毅

予算決算常任委員会

予算や決算に関することを審査・調査します。

委員長	栗林 京子
副委員長	小松崎敏紀
※委員は、議長を除く全議員です	

広報広聴委員会

市議会の広報広聴に関することを担当しています。議会だよりの企画立案・編集も行っています。

委員長	小松崎敏紀
副委員長	樋口富士男
委員	小池みよ子
	宇田 一男
	笹沼 康弘
	舛井 明宏

東京2020オリンピック推進調査特別委員会

東京2020オリンピックサッカー競技の本市開催を成功に導くため、本市が取り組む準備・運営の支援に関する調査を行います。

委員長	河津 亨
副委員長	栗林 京子
※委員は、議長・副議長を除く全議員です	

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と市民の安全・安心の確保をするための対策について検討します。

委員長	山口 哲秀
副委員長	根崎 彰
※委員は、議長を除く全議員です	

新しい委員会構成で

5月18日に開催された令和3年第1回臨時会から、常任委員会や議会運営委員会、本紙の編集など広報広聴を担当する広報広聴委員会の構成などが新しくなりました。今後2年間はこの体制でそれぞれ所管の委員会活動などを行っていきます。



議長 篠塚 洋三



副議長 山口 哲秀

総務生活委員会

政策企画部、総務部、市民生活部、出納室、監査委員事務局に関すること、また、他の委員会が担当しないことを審査・調査します。



委員長 池田 芳範



副委員長 栗林 京子



委員 内田 政文



委員 立原 弘一



委員 河津 亨



委員 篠塚 洋三

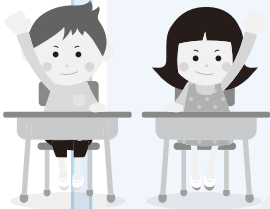


委員 舛井 明宏



文教厚生委員会

健康福祉部と教育委員会に関することを審査・調査します。



委員長 樋口 富士男



副委員長 小松崎 敏紀



委員 飯塚 俊雄



委員 根崎 彰



委員 宇田 一男



委員 佐藤 信成



委員 川井 宏子

5月・6月の議会で こんなことが決まりました！

5月
臨時会

5月18日、令和3年第1回臨時会が開催されました。
市長から提出された5件の議案を審議しました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議案名	概要	結果
市長から提出された議案及び報告 5件			
議案第34号	令和3年度鹿嶋市一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ9,599万7千円を追加し、総額237億5,962万円とするもの。歳入の主なものとしては、保健衛生費補助金及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増1億643万9千円、地域福祉基金繰入金金の減1,344万2千円など。歳出の主なものとしては、長寿をたたえる事業の減1,344万2千円、長寿祝い膳応援事業の増3,132万3千円、新型コロナウイルス感染症検査委託料などの増1,796万円、新型コロナウイルスワクチン接種体制支援金などによる新型コロナウイルスワクチン接種経費の増5,865万6千円などを計上。	原案可決
報告第2号	専決処分について(鹿嶋市税条例等の一部を改正する条例)	地方税法等の一部を改正する法律が令和3年4月1日から施行されることに伴い、固定資産税(土地)の負担調整措置等についての規定を整備するため、条例の一部を改正したもの。	原案承認
報告第3号	専決処分について(鹿島地方公平委員会共同設置規約の変更について)	令和3年4月1日に設立した銚田・大洗広域事務組合が同日付で鹿島地方公平委員会に加入することに伴い、関係団体の議会の議決を経て鹿島地方公平委員会共同設置規約を変更する必要があるため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行ったもの。	原案承認
報告第4号	専決処分について(鹿嶋市介護保険条例の一部を改正する条例)	新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等一定の条件に該当する介護保険の第1号被保険者を対象に介護保険料の減免等を行うため、条例の一部を改正したもの。	原案承認
報告第5号	専決処分について(令和3年度鹿嶋市一般会計補正予算(第1号))	歳入歳出それぞれ4,362万3千円を追加し、総額236億6,362万3千円とする補正予算としたもの。歳入としては、子育て世帯生活支援特別給付金事業補助金の増4,362万3千円。歳出としては、子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業4,362万3千円を計上。	原案承認

6月3日～17日の15日間、令和3年第2回定例会が開催されました。
市長から提出された16件の議案や、議会へ提出された1件の請願、委員会から提出されたそれぞれ1件の意見書と議案(要望書)を審議しました。
議決結果は次のとおりです。

6月
定例会

議案番号	議案名	概要	結果
市長から提出された議案 16件			
議案第35号	令和3年度鹿嶋市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ4億1,006万1千円を追加し、総額241億6,968万1千円とするもの。歳入の主なものとしては、児童福祉費補助金の増及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増など1億678万1千円、ふるさと納税の増など3億100万円、財政調整基金繰入金金の増94万3千円など。歳出の主なものとしては、企画調整事務経費の増1,807万3千円、鹿島アントラーズホームタウン支援金によるホームタウン推進事業の増2億4,137万7千円、災害対策経費の増855万3千円、特別保育・保育サービス支援事業の増1,060万円、子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)給付事業の増5,696万9千円、施設改修工事費による体育施設管理費の増371万円など。	原案可決
議案第36号	鹿嶋市農業委員会委員の任命について	鹿嶋市農業委員会委員の任命について、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定により、議会の同意を求めるもの。任期は、令和3年8月27日から3年間。	原案同意
議案第37号		議案第36号：出頭 勝美 氏(再任)	
議案第38号		議案第37号：橋本 正 氏(再任)	
議案第39号		議案第38号：山本 清治 氏(再任)	
議案第40号		議案第39号：大槻 勝敏 氏(再任)	
議案第41号		議案第40号：永作 幸雄 氏(再任)	
議案第42号		議案第41号：清宮 茂信 氏(再任)	
議案第43号		議案第42号：桐澤いつみ 氏(再任) 議案第43号：野口 嘉徳 氏(再任)	
▶ 次ページへ続く			

討論は
6ページ
審査は
7ページ

審査は
7ページ

議案番号	議案名	概要	結果
議案第44号	鹿嶋市農業委員会委員の任命について	議案第44号：大川 喜美 氏 (再任) 議案第45号：笹本真由美 氏 (再任) 議案第46号：日向寺昌幸 氏 (再任) 議案第47号：笠貴 順一 氏 (再任) 議案第48号：石津 彰 氏 (新任) 議案第49号：今村 太一 氏 (新任)	原案同意
議案第45号			
議案第46号			
議案第47号			
議案第48号			
議案第49号			
議案第50号	中野東小学校大規模改造建築工事(北校舎) 請負契約について	今回発注する工事は、老朽化が著しい中野東小学校北校舎の内外装を改修し、校舎の長寿命化を図り、併せて非構造部材の耐震対策を行うもの。条件付一般競争入札を電子入札で5月13日に執行した結果、落札した株式会社大地と2億2,770万円で購入契約を締結するため、議会の議決を求めるもの。	原案可決
請願と委員会から提出された意見書 2件			
令和3年 請願第1号	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求める請願書	地方自治法第99条の規定に基づき、国会または関係行政庁へ意見書(第1号)を提出するよう請願するもの。	採 択
意見書第1号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	新型コロナウイルス感染対策の教訓を経て、国民のいのちと健康、暮らしを守るためにも、そして新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題。このことを踏まえ、医療、介護、福祉に対する十分な財源確保、地域の声を踏まえた医療体制の充実、医師・看護師・医療技術職・介護職等の大幅な増員、公衆衛生行政の拡充、ウイルス研究、検査・検疫体制などの強化・拡充、社会保障に関わる国民負担軽減の実現を求めるもの。 【提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣】 提出：文教厚生委員会	原案可決
委員会から提出された議案(要望書) 1件			
第4号議案	東京五輪サッカー大会の小中全校応援実施に関する要望書	コロナ禍での全校応援やその対策について、児童生徒や保護者に十分な理解が得られているとは言い難く、心配の声が上がっている。また、特別委員会の中でも、児童生徒の安全を最優先し中止するべき、市の方針に沿って実施するべき等、様々な意見があった。そのため要望事項を取りまとめたため、市においては十分に留意し、児童生徒や保護者へより一層の配慮をお願いする。 1. 学校や保護者の声を積極的に取り入れ、最終的な実施の判断基準を明確にしておくこと。 2. 現地の事前確認を行い、熱中症対策や移動時の安全対策など、万全の態勢で臨めるよう準備を進めること。 3. 引率をする教員や児童生徒を送迎するバスの運転手等へ、ワクチンの先行接種を検討すること。 4. 子どもたちが全校応援時に感染した場合を想定し、その対応を検討しておくこと。 【提出先：鹿嶋市長】 提出：東京2020オリンピック推進調査特別委員会	原案可決

全文は
15ページ

議員賛否一覧表

賛否が分かれた議案と議員(会派)の賛否結果	未来かしま										公明 かしま		日本 共産党		幹 会		無会派		無所属
	飯塚俊雄	内田政文	根崎 彰	池田芳範	坂本 仙一	小池みよ子	栗林京子	小松崎敏紀	笹沼康弘	山口哲秀	樋口富士男	立原 弘一	川井 宏子	宇田 一男	菅 谷 毅	舛井明宏	河津 亨	佐藤信成	田 口 茂
議案第35号 令和3年度鹿嶋市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=-

※篠塚洋三議長は、採決に加わりません。

討論 国の交付金の使い方が争点に

議事録が完成され次第、鹿嶋市議会ホームページの会議録検索システムで検索することができます。



■議案第35号 令和3年度鹿嶋市一般会計補正予算(第3号)

歳入の主なものとしては、児童福祉費補助金の増及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増など1億678万1000円、ふるさと納税の増など3億100万円、財政調整基金繰入金の増94万3000円など。歳出の主なものとしては、企画調整事務経費の増1807万3000円、鹿島アントラーズホームタウン支援金によるホームタウン推進事業の増2億4137万7000円、災害対策経費の増855万3000円、特別保育・保育サービスマス支援事業の増1060万円、子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分) 給付事業の増5696万9000円、施設改修工事費による体育施設管理費の増371万円など。

反対



立原弘一 議員

市民が望んでいるのは、電子化を急ぐことでも、コンサルに委託してライフスタイル開拓などにコロナ対策のための交付金をつぎ込むことでもない。コロナ禍で追い詰められ

方に暮れている方にどのような手を打つのか、市の想いが伝わるような施策である。補正予算を根本的に見直し、検査体制の充実や、事業者、困窮者、医療従事者の支援のための対策を最優先に位置づけ、納税者である市民が納得できる明解なメッセージを発信するような内容に修正することを強く求め、反対とする。

反対



佐藤信成 議員

コロナ対策という名の下、移住支援のために1000万円弱の補正予算が盛り込まれている。成果が出るか不透明で、イベント性の高い事業になぜコロナ対策としての交付金を使うのか理解できない。市が取らなければいけない人口の社会増対策は、日本製鉄の高炉停止による失業者の抑制や若者への就労支援によって地域へどまり続けてもらうことへの対策である。また、市内小中学生の五輪サッカー観戦の費用について、直前まで市内のコロナの状況、市民感情なども留意した上で補正予算として審議をするべき、と申し添え、反対とする。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の主な活動経過

計20回開催 (6/30時点)

令和2年

4月21日 特別委員会設置

5月22日 市へ要望書を提出

- ・感染症拡大防止等について (4項目)
- ・学校への対応について (8項目)
- ・経済・生活支援対策について (27項目)
- ・今後の対応について (9項目)



5月22日 市内経済団体(7団体)へヒアリング実施

6月11日 ヒアリングをもとに市へ要望事項を提出

- ・早急に望まれる支援等について (5項目)
- ・国県への意見要望の働きかけについて (4項目)

6月11日 国・県へ意見書を提出

- ・経済支援対策について
- ・感染予防対策について
- ・医療・介護対策について
- ・労働者支援対策について
- ・教育・保育支援対策について
- ・各種支援体制組織の充実について



8月7日 市へ提言書を提出

- ・感染症予防対策・医療体制について
- ・経済支援について
- ・教育環境について



令和3年

2月2日 市へ要望書を提出



3月19日 市へ提言書を提出



予 算 決 算 常 任 委 員 会

新型コロナウイルス対応地方創生 臨時交付金等の補正予算を審査

予算決算常任委員会では、1件の補正予算を審査しました。

主な質疑

■議案第35号 令和3年度鹿嶋市一般会計補正予算(第3号)

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い方としてピントがずれている。市民は今をどう乗り切るか、不安に思いながら日々を送っている。臨時交付金を5000万円残しているが、基金を取り崩してでも市民を助けなければならぬという姿勢が補正予算から見えない。どう考えているのか。

答 約1億8000万円の限度額で5000万円ほどの余地を残している。5月には感染拡大への対策、長寿祝い膳応援事業等の補正を

し、今回も同様に感染予防、低所得の子育て世帯への支援、今後を見据えた事業として1億円ほど補正予算を計上した。ワクチン接種後の対応、状況の変化、市民のニーズを的確に捉え、9月以降の補正については、臨時交付金の活用を十分に図りながら、感染症対策、経済支援、収束後の対応を検討していきたい。

【反対討論】

・感染症が拡大する中でその対策に適合した補正予算の内容ではない。

【賛成討論】

・新型コロナウイルス感染症対策について現在の状況と先を見据えたバランスの取れた補正内容である。

採決の結果、議案第35号については賛成多数で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

小学校大規模改造建築工事の 請負契約締結に関する議案などを審査

文教厚生委員会では、議案1件と請願1件を審査しました。

主な質疑

■議案第50号 中野東小学校大規模改造建築工事(北校舎)請負契約について

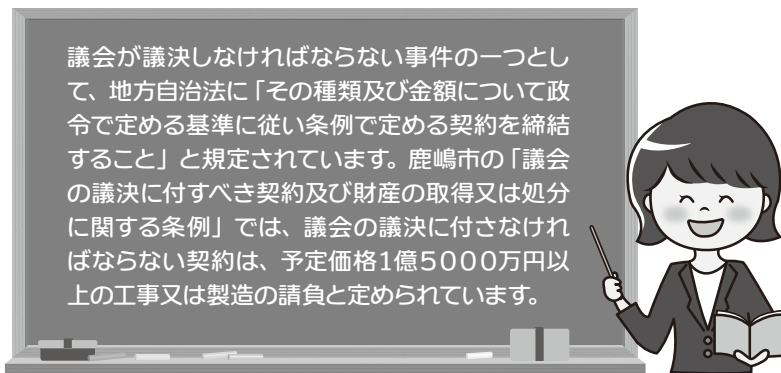
老朽化が進む中野東小学校北校舎の内外装改修工事の請負契約を締結するもの。

問 市内の学校施設におけるアスベストの状況は、

答 吹き付けされたアスベストを対象とした含有調査により、アスベストが確認されたものについては全て除去が完了している。

意 アスベストに関しては健康被害もあるので、しっかりと対応をお願いしたい。

採決の結果、審査した議案と請願は、全員賛成で、原案のとおり可決・採択すべきであると決定しました。



委員会の活動

*委員会とは、議案をさらに詳細に審査する機関で、鹿嶋市議会には4つの常任委員会があります。委員会での採決の結果は、本会議で報告され、報告後に行われる採決で議会の意思(可決や否決)が決定します。

ここが知りたい！ 一般質問

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



このQRコードまたは各議員の顔写真下のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます。

Q 給食の無償化について



かわい ひろこ 川井 宏子 議員

(発言時間=60分)



川井

子どもたちがお金の心配をせず、学校生活を送ることができるよう、そして保護者の負担軽減という意味からも、給食の無償化という支援が必要と考える。これまで何度も繰り返し質問してきたが、コロナ禍で困窮に陥り、制度としてやっているから大丈夫というような状況ではなくなっている。明日食べるお米もないという方たちの声に本当に耳を傾けているのか。給食の無償化をどのように考えているのか市長から答弁をいただきたい。

A 検討していきたい

市長

このコロナ禍、本当に職を失ったり、今までとは違う状況がいろいろあるかと思う。調査をしながら、状況を確認しながら、もっと拡充しなくてはいけないのかどうか、これから検討していきたいと考えている。

Q 新子育て安心プランに対する市の考えは

川井

厚労省は、保育士不足を理由に、2021年度から保育所などで配置する保育士について、常勤であるということや緩める規制緩和、新子育て安心プランを実施した。今回の緩和の問題点は、新プラン実施のために必要な財源、約440億円を児童手当の特別給付の一部削減によって充当することを前提にしていることである。保育の在り方を大きく劣化させる大問題だ。さらに指摘するならば、規制緩和は保育界か

A 現行の基本的姿勢を今後も継続

教育部長

市としては、この制度は待機児童が発生した場合の緊急的措置と捉えている。クラス担任の在り方については、1日を通して子どもの成長を見守るとの考えから、担任は正規職員で担うという現行の基本的姿勢は今後も継続していきたいと考えている。

【こんな質問もありました】

①制服、体操服のリサイクルについて

②学校のトイレに生理用品の設置を

③高齢者医療費2倍化法案について

ここが知りたい！ 一般質問

Q 子育て支援センターの建設地について

舛井

基本構想は作らずに詳細設計に移ると、以前は説明していたが、現在の子育て支援センターの状況把握と、新たに整備するセンターの建設候補地を含めた考え方の骨格となるものが基本構想である。それを基にして詳細設計が進められるはずだが、なぜ基本構想は作らなかったのか。

A 基本計画のまとめを行っている

政策企画部長 現在施設整備に当たってのアンケートを実施し、基本計画の最終的なまとめを行っているところである。



あきひろ 明宏 議員
舛井 ますい

(発言時間=60分)

舛井

アンケートを実施するということとは初耳だが、場所の選定も遡って行うということか。

健康福祉部長

新施設の建設場所については、既に市として総合的に判断し選定していることから、今回実施したアンケート項目に建設場所への設問は設けていない。

舛井

順番が違う。市民にとって子育て支援センター整備の

大きな変化の一つは、場所の移転。基本計画は、市民や利用者の方々の声を聞かずに建設場所を既に決めてから、ましてやその土地の取得や詳細設計の予算を既に決定してからつくるものではない。移転したのであれば、まずは、現状の場所で改修した場合と、そのほかの候補地を選定した場合、それぞれのメリットとデメリットをしっかりと市民の要望も踏まえた形で総合評価して決定しなければならぬ。他市でも同様な子育て支援センターを整備する計画があるが、アンケート調査で市民から出た意見、要望などを

基に、3つの候補地について総合評価し建設地が決定されている。これが、本来の市民に寄り添った市政のやり方ではないか。なぜ同じ地方自治体で、こうも差が出てしまうのか。また、市が計画中の高松小中一貫校の施設整備についても、候補地の3か所について丁寧に総合評価を実施し整備場所を決定している。なぜ同じ市のインフラ整備で、こうもやり方に差が出てしまうか。これから少々時間をかけてでも、アンケート等で市民の声を聞き、建設地を選定するという、行政として当たり前のことを当たり前にやっていたら、合意形成に努め、総合的に評価した基本構想を作成し、慎重かつ丁寧に進めるべき。私が考えた案としては、現状の場所の再整備、または中央図書館との複合化も、市の考えている案と比較して優劣つけがたいと考える。

【こんな質問もありました】

④ 新可燃ごみ処理施設建設の進捗等について



うちだ まさふみ
内田 政文 議員

(発言時間=45分)



Q ワクチン接種の予約状況は

内田 新型コロナウイルスワクチンの接種予約状況（65歳以上）について伺う。

A 当初予定の7割は7月末で完了見込み

健康福祉部長 第1回目（4月26日）の予約受付は5069人（コールセンター1721人、ウェブ4348人）、第2回目（5月26日）からの予約受付は10890人であり、6月1日現在で希望される高齢者の接種見込み率は81%となる。現時点においては当初予定の約7割の方は、おおむね7月末に接種が終了する見込み。

Q オリンピックの感染症対策は

内田 オリンピック観戦者の感染症対策について伺う。

A マニュアル化が進んでいる

政策企画部長 カシマスタジアム内やスタジアムに至る観客動線については、組織委員会と県が中心となり、施設の清掃、消毒の徹底、3密回避やマスクの着用、大声での会話の自粛といった飛沫予防などの基本的な感染予防対策、スタッフの健康管理や体調不良者への対応などマニュアル化が進められている。市主催のおもてなし事業の具体的な感染予防対策としては、飛沫・接触感染防止、来場者及び関係者の体調管理の徹底という柱を中心に、来場者への検温実施、プラカードや拡声器の活用、体験型イベント等接触を伴うイベントの見直し等対策を講じる。

Q コロナ禍での歴史資料館整備事業は

内田 感染症対策経費の増加が見込まれる中、さらには財政状況が厳しい折、今まで通り歴史資料館整備事業を推進する意義を伺う。

A 市の将来のために

市長 本市には全国に誇れる歴史があるが、市民はその歴史に接する機会に恵まれていない。鹿島開発も60年が経過し、今後正しく語り継ぐことが困難な状況となってきた。これらの歴史を保存し、後世に伝承させていくこと、郷土愛を醸成していくことは行政の役割であると考えている。目の前の問題にとらわれ過ぎてしまい、人の意見に左右されてしまいうような大衆迎合政治に陥ってほならないと肝に銘じ、財政が厳しいのは十分理解しているが、オーラル鹿嶋で知恵を絞り乗り越え、市の将来のため、未来への投資を行う。

ここが知りたい！ 一般質問

Q 感染症防止対策について

宇田 感染症防止対策について、今後さらに感染防止対策を実施すべきと計画している項目について、市の見解を伺う。

A 水道蛇口の改修を行う

教育部 市内全小中学校において、児童生徒が手を触れることの多いトイレ及び手洗い場にある水道の蛇口をレバー式に交換改修を行った。トイレ、手洗い場の蛇口について、一定程度使用者が限定される保育園等の水道蛇口についてはレバー式に、また不定期で不特定多数の市民が利用される公民館、体育館等の水道蛇口についてはセンサー式の自動水栓に改修する計画をしている。

Q 集団接種会場の選定経過は

また3密になりやすい環境の児童クラブについては3密回避の観点より、一時的にクラブ室を増やすなど、学校と調整をしていきたい。

宇田

ワクチンの集団接種会場として、公共施設を含め施設の選定経過について伺う。

A 効率的・安全に実施する観点を重視

健康福祉部長 地域バランスを考慮するとともに、効率的かつ安全に本来目的とする事業等が円滑に実施される視点も含め検討した。動線の確保や人と人の距離、駐車スペースや冷暖房設備など総合的に判断し、民間施設を含め8会場で実施計画を立てている。

宇田

施設の選定については疑念を持たれないように、透明性を担保するようお願いする。

宇田

高齢化社会が進み、集団接種会場などに適した公共施設が少ないなか、バリアフリー・ユニバーサルデザインに対応した施設変更が必要と考えるが市の見解を伺う。

A 改修を検討していきたい

教育部 近年整備した公共施設については、バリアフリー化対応済み。鹿嶋勤労文化会館については、老朽化修繕を優先している状況であり、機能向上も合わせた改修を検討していきたい。

健康福祉部長

安全・安心に暮らせるまちの施策として、高齢者・障がい者にもやさしい都市基盤の整備等を位置づけ、バリアフリー化を推進するとともにユニバーサルデザインの視点も取り入れ、施設利用者の利便性と安全性の向上に取り組んでいきたい。

宇田

今回の集団接種等を契機に今後の公共施設のあるべき施設仕様等について、公共施設等総合管理計画と併せて推進をお願いする。



うだ かずお
宇田 一男 議員

(発言時間=45分)



Q バリアフリーに対応を

一般質問



こまつざき としのり
小松崎 敏紀 議員

(発言時間=45分)



Q 鹿嶋づくりに必要な不可欠な人材とは

小松崎

時代に適した自治体運営をするにあたり、市の職員一人一人の能力を今以上に最大限引き出す仕組みが喫緊の課題。

これからの時代に向けた市役所づくりには、職員一人一人の力にかかっている。今後の鹿嶋づくりにおいて必要不可欠と考える人材は。

A 柔軟な考え方に期待

市長

行政のプロとして強い責任感を求められることは

もちろん、厳しい財政状況を打破するためには経営意識が高く、稼ぐ力を持った人材となることが必要である。前例にとらわれること

なく、新しい発想、いかに稼ぐか、いかにサービスの質を下げずにコストを下げるか、職員の自由で柔軟な考え方に期待している。

Q 通学路の安全性の担保は

小松崎

生活道路における通学路について、1年を通じて安全性を担保する維持管理をどのように考えているのか。

A 改善に向け対応をお願いしている

教育部長

定期的な通学路の安全対策として、雑草の繁茂状況、道路や安全施設に損傷があるか、白線が消えていないか等について、学校と保護者、児童の3者による点検のほか、通学路安全対策推進会議の委員による合同点検を年1回程度実施している。また、随時、学校や保護者、地域住民による危険箇所の指摘や要望等に基づき現地を確認し、対策が必要な箇所については、国・県など

の道路管理者、警察署や市交通防災課など関係各所と協議し、改善に向け対応をお願いしている。

Q 自主防災組織の活動支援は

小松崎

地域防災計画において、自主防災組織の活動環境の整備を積極的に行っていくとある。市として自主防災組織の活動環境の整備のため、どのようなことを具体的に行っていくのか。

A 運営費などの支援を検討

市民生活部長

自主防災組織設立時に活動育成補助金として5万円の補助などを行っているが、自主防災組織ごとの運営費等への支援は行われていない。今後は、平成26年に作成した各地区のわが家・わたしの防災シートの避難場所を改めて確認するなど、様々な団体が連携して活発な活動が行われるための取組を推進し、その上で自主防災組織ごとの運営費や資機材等購入費用への支援を検討していきたい。

ここが知りたい！ 一般質問

Q 高炉停止を受けて市独自の対策本部の設置を

佐藤

企業からの切実な経営状況を、雇用状況の見直しなどを把握し対策を打っていくためにも、県が主導の対策本部に任せるよりも、鹿嶋市独自の対策本部も設置し、主体的な対応にあたるべきではないか。

A 初動対応はしっかりできた

市長

現在、茨城県知事を本部長とし、関係各所と合同対策本部を立ち上げている。初動対応については、県の合同対策本部を中心にしっかり対応できたものと考えている。

Q 失業世帯に対する子ども進学支援について

佐藤

残念ながら職を失う人が少なからずいらっしゃる。親の経済状況に関わらず子どもたちが学び続けられるような経済的な支援策の準備を。

A 臨機応変に対応

教育部長

経済状況を鑑み、奨学金貸与者の枠を外すなど臨機応変に対応し、経済的理由で学びの志を諦めることのないよう奨学金制度の運営に努めていく。

佐藤

対象者が増えれば、制限なく貸与してくれるのか。

教育部長

無制限ということはない。基金の運用上、枠としては30人程度が適正な数字かと思うが、若干の枠を超えての貸与は可能と考えているため、当面はそういう対応を取りたい。

佐藤

基金だけでなく、市のお金も使って貸し出し人数を増やしてもらおう求める。

Q 通勤圏の拡大について

佐藤

雇用対策として、通勤圏の拡大に取り組むべきだ。鹿島神宮駅から千葉駅まで快速列車を走らせられれば、鹿嶋に住みながら、首都圏が現実的に通勤、そして通学圏内に入る。市は本気で取り組むべきだと考えるが市の見解は。

A 今後も要望する

政策企画部長

鹿行地域は千葉、東京方面への通学、通勤圏内でもあるため、快速電車をJR東日本へ要望してきた。今後もJR東日本への要望はもとより、JR鹿島線沿線自治体と一体となり、利用者の増加策にも努めていきたい。

佐藤

JR等に要望をするだけでなく、JR側へのメリットもあることなどを併せて提案し、真剣に本気で取り組んでもらいたい。



のぶなり
さとう 佐藤 信成 議員

(発言時間=60分)

一般質問



ちはら ひろいち
立原 弘一 議員

〔発言時間＝60分〕



Q ワクチンの供給量について

立原

ワクチン接種について、高年齢者は7月末までとの指示がある。確定供給量というのが必要量に追いつくのか。東京などでは、都と約束した数が入ってこなくて、調整に四苦八苦した自治体もあったような話を聞く。本市においてそういった心配はないのか。

A 確保できている

健康福祉 社部長

6月4日現在の本市へのワクチン供給確定量は、6月21日の週及び28日の週に配送される分を見込み全部で累計45箱(5万2650回分)となり、人数にすると2万6325人分の供給が確定をしている。このため、現在予約をされている高齢者等分(1万

6596人掛ける2回分)確保ができている状況である。

Q オリンピック学校連携観戦について

立原

鹿嶋開催のサッカーの試合を子どもたちに観戦させるなどのことだが、コロナ禍においてどのような考えを持っているのか。

A 感染対策を徹底する

教育長

今後大会組織委員会等から示される観客向けガイドラインや、Jリーグ観戦応援スタイルの事例を参考にしながら、応援時の感染対策に努めていくとともに、スタジアムでは児童生徒が一般の観客と接することがないように、観客席のエリア区分を行い、また学校からスタジアムまでのバス移動においては検温の実施のほか、乗降時の手指消毒の実施、移動中の車内では声を出さないなどの感染対策を徹底し、子どもたちが安心してサッカー観戦できるように、できる限りの感染リスクの削

減に努めていく。

Q ごみ中継施設について

立原

持ち込んだごみを、そのままためておいて、それを大きいトラックに積んで、今度は神栖に持っていくこととなる。臭いや交通渋滞などに不安の声があるが、どのように住民に対して説明するつもりなのか。

A 渋滞緩和に配慮

市民生活 活部長

市民の利便性、仮置きと神栖市への搬送における渋滞や事故等の増加という点については、現在のRDF方式と大きな違いはないと考えているが、車両集中に備え、計量器前の待機スペースを確保するなど、搬入車両の渋滞緩和に配慮していく。悪臭対策については、現時点で中継施設からの排出を想定している輸送用コンテナは、パッキンによる機密性が高く、臭気、汚水の漏えいがない機能を有している。

6/17 市長に要望書を提出しました



東京五輪サッカー大会の 小中全校応援実施に関する要望書

現在、全国的に新型コロナウイルス感染症の新規感染者の減少傾向が続く一方、本県では変異株の陽性率が増加するなど、感染再拡大への懸念が残っております。こうした影響もあり、本市での東京2020オリンピックサッカー競技開催まで1か月余りとなりましたが、未だに入場者の制限の詳細が決定しておらず、十分な準備ができていません。また政府においては、事前にPCR検査などを行った上で、入場時に1週間以内に取得した「陰性証明書」の提示を求める案を検討していると報道されております。

そのような状況の中、本市においては、市内小・中学生のオリンピック観戦は子どもたちにとって、かけがえのない経験と感動を心に残すことができる二度とない大変貴重な機会とし、全校応援の計画を進めているところであります。6月定例会の一般質問においては、応援時や移動時の感染対策を徹底することや、参加を強制せず、児童生徒、保護者へ参加の希望調査を行うこととし、参加しない場合でも欠席扱いしない取扱いとするとの答弁がされました。また報道では、入場者に新型コロナの陰性証明が求められた際は、陰性を証明する抗原検査やPCR検査の料金を市が全額を負担するとの発表もされました。

しかし、コロナ禍での全校応援やその対策について、児童生徒や保護者に十分な理解が得られているとは言い難く、心配の声が上がっています。また、東京2020オリンピック推進調査特別委員会の中でも、児童生徒の安全を最優先し中止するべき、市の方針に沿って実施するべき等、様々な意見がありました。

そのため東京2020オリンピック推進調査特別委員会において協議・検討をし、下記のとおり要望事項を取りまとめましたので、市におかれましては十分に留意していただき、児童生徒や保護者へより一層の配慮をお願いいたします。

記

1. 学校や保護者の声を積極的に取り入れ、最終的な実施の判断基準を明確にしておくこと。
2. 現地の事前確認を行い、熱中症対策や移動時の安全対策など、万全の態勢で臨めるよう準備を進めること。
3. 引率をする教員や児童生徒を送迎するバスの運転手等へ、ワクチンの先行接種を検討すること。
4. 子どもたちが全校応援時に感染した場合を想定し、その対応を検討しておくこと。

—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

きかせて！
あなたの夢

オンライン



鹿野中学校3年生
内田 晴介さん

英語を使った仕事を

僕の夢は、将来、英語を使って人と接する仕事をする事です。東京へ行ったときにホテルで外国の方とお話をしたことがきっかけです。夢の実現に向けて英語の勉強、特にコミュニケーション能力をつけるために努力しています。そのためにも塾に通っています。

生徒会活動にも取り組んでおり、学校行事の開催や校則の見直しに取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症が様々な活動のネックになっていますが、秋に開催される京都方面への修学旅行が楽しみで、班編成など準備をしています。コロナが一日でも早く

収束するよう願っています。

鹿嶋市は自然が多く、1年を通してイベントがあり、また東京へ行きやすいところも魅力ですが、電車の本数が少なく遊べる場所がないのが残念です。

将来の鹿嶋は、若い人たちが引張って、そして若い人の意見が活かされるような街になってほしいです。

爽やかな笑顔で夢を語ってくれた内田さん。生徒会活動やクラブ活動についても話してくれました。「夢は望まなければ叶わない」と言います。有言実行で、一步一步夢の実現に向けて歩いていってください。まずは修学旅行に行けると良いですね。応援しています！（小池・宇田）

議 会 T O P I C S

議員表彰を受けました！

全国市議会議長会から、永年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績により宇田一男議員が表彰を受けました。



全国市議会議長会表彰
議員在職10年以上
宇田一男議員（写真左）



ICTの導入を進めています！

コロナ禍において、日本のデジタル化が大幅に遅れていることが浮き彫りとなり、行政のデジタル化が急務となっています。本市議会においても、ICTの導入を進めていきます。具体的には、議場のほか会議室の無線LANの導入、「とびら」のリモート取材、全議員へのタブレット貸与による会議のペーパーレス化やスケジュール管理などです。今後もできることから着実にICTを活用してまいります。



リモートで取材をする広報広聴委員会メンバー

次回定例会の 開会予定は 8月31日(火)

8/ 31(火)	本会議：開会
9/ 7(火)・8(水) 9(木)	本会議：一般質問 ※9日は予備日
10(金)	本会議：質疑・委員会付託、予算決算常任委員会
13日(月)・14日(火) 15日(水)	予算決算常任委員会
17日(金)	常任委員会
21日(火)	予算決算常任委員会
24日(金)	本会議：委員長報告・討論・採決・閉会

※変更の場合があります。詳細はHPでお知らせします。
<https://www.city.kashima.ibaraki.jp/site/19gikai/3297.html>

- ◆ 広報広聴委員会
- 委員長 小松崎 敏 紀
 - 副委員長 樋口 富士男
 - 委員 宇田 池 一 富 子
 - 委員 笹沼 田 一 弘
 - 委員 舩井 明 宏

編集後記 宇田一男
委員会構成改編により今号より広報広聴委員となりました。コロナ禍により取材等へも影響がありますが、市民の皆さんと市議会をつなぐ「とびら」となるよう、今後も議会広報含め小松崎委員長を中心に委員一丸となり取り組んでいきたいと思っております。多くの市民の皆さんに読んでいただける「とびら」を目指しますのでよろしくお願いたします。